

各協会 組合の代表者 殿

日立労働基準監督署長

労働災害防止対策取組み強化の要請について

平素は労働基準行政の推進につき、格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当署管内における今年1月から5月末までの労働災害発生状況を集計したところ、昨年中の同時期までの53件に対して69件と、大幅な増加が認められました。

主な発生業種や原因（事故の型）は平成27年労働災害発生状況（5月末現在）のとおり、化学工業、窯業土石製品製造業、保健衛生業、通信業における大幅増加、金属製品製造業における挟まれ巻込まれ、建設業における墜落、商業・接客娯楽業における転倒、保健衛生業における転倒・動作の反動、通信業におけるバイク事故が顕著となっております。この災害の傾向は昨年1年間の主な発生原因（事故の型）と変わらず（平成26年労働災害発生状況（確定値）参照）、更なる発生件数増加が懸念されるところです。

つきましては、貴協会、組合各構成事業場の皆様には、労働災害防止対策取組みの強化をしていただきますよう要請いたします。

なお、災害事例概略は以下のとおり、業種の特性によるものもありますが、よらないものも多くありますので、今後の防止対策検討に当たりご参照ください。

災害事例

①化学工業

- ・昇降丸鋸盤の刃に右手親指が接触して切断
- ・2段積パレット最上部の荷を降ろすにあたり、踏み台として利用した作業台から荷を持って飛び降りた着地の際にバランスを崩し作業台角に胸部を打ち付け肋骨骨折
- ・20kgの材料袋を抱えて投入口に投入する際の肩の脱臼

②窯業土石製品製造業

- ・ベルトコンベアのテールプリーに付着した粘土を除去するためにスコップを差し込んだ際にプリーコンベア間に左手小指を巻き込まれ骨折
- ・送材スクリーンが通っている管の開口部分に誤って手をつき親指切断
- ・階段を降りている際に段を踏み外して踵を骨折
- ・サンダーが材に食い込んだ反動で太ももにあたり切創
- ・平な長方形の荷をハッカーで吊り、地切りの際にハッカーが外れて歩行者顔面に激突

③保健衛生業

- ・利用者をベット車いす間移動や座位置合わせのため抱えようとした際、転倒等防止のためにした介助の際、ベット等重量物宅配作業の際などの急性腰痛、肉離れ等
- ・介助中に利用者が暴れたことによる骨折

- ・訪問先玄関上がり口で靴をそろえようとした際にバランスを崩し土間に転倒、肩骨折
- ・パイプいすを踏み台にして転倒し家具に肩を打って骨折

④金属製品製造業

- ・旋盤作業が終了し電源切断後、けずりかすが気になり近づいたところ左手が無意識に止まりきっていたなかった旋盤に接触し裂傷骨折
- ・天井クレーンで荷の移動中に添えていた手を他の荷物との間で挟み挫創
- ・ボール盤に皮手袋が巻き込まれ骨折
- ・回転研磨中に指をペーパーとパイプ間に巻き込まれ骨折
- ・ローラー台座上でせん孔作業中にローラー可動部分に手を置いてしまい、加工物との間に指先を挟み骨折

⑤建設業

- ・ビケ足場支柱伝いに降りる際にズボン裾を引っ掛け転倒、腕骨折
- ・誤ってポリカーボネイト屋根を踏み抜き墜落
- ・屋根軒下から墜落、腰椎骨折
- ・作業台から降りる際に昇降禁止側を使ったため中折れして足を挟み、骨折

⑥商業・接客娯楽業

- ・歩行中に商品棚の間から飛び出してきた客をよけようとしてひねり転倒、足首骨折
- ・出入り口の凍った路面で転倒、頭部打撲と大腿骨骨折
- ・階段昇降中転倒骨折
- ・商品をとるため使用の脚立から転倒、踵骨折